

空軍参謀長等招へい行事（AFFJ）の実施について

10月14日から18日までの間、航空自衛隊は70周年記念行事の一環として、空軍参謀長等招へい行事（Air Force Forum in Japan）を実施しました。

期間中、多国間協議「InPACT」（Indo-Pacific Air chiefs Conference in Tokyo）が行われました。本協議は3つのI、「マルチ・ドメイン・インテグレーション」（宇宙やサイバー等の新しい領域や、多様な脅威へ対応しうる能力）、「ヒューマン・インターオペラビリティ」（人と人との繋がり）、「インパクト」（印象に残る議論）を重視し、各国参謀長等は国内外の有識者による講演やパネルディスカッションを通じて相互理解を深めました。

また、航空幕僚長 内倉 浩昭 空将が全ての参加国参謀長等との会談を行い、今後も防衛協力・交流を促進して、連携を強化していくことを確認しました。

また、入間基地においてC-2輸送機の体験搭乗や各種装備品展示の見学を行い、参加国参謀長等に航空自衛隊の装備品や活動について理解を深めていただきました。その他、AFFJの一環として、一般社団法人 日本航空宇宙工業会が主催する国際航空宇宙展（Japan International Aerospace Exhibition 2024）を訪問し、航空自衛隊を含めた多数の企業や機関等のブースを見学し、日本及び世界の航空、宇宙、防衛分野に関わる技術や製品について理解を深めました。

航空自衛隊は、今後も各国空軍種との信頼関係を深化し、連携して地域の平和と安定に寄与してまいります。



